

「あなたの祈りは聞かれた」

～祈りは現実となる～

¹¹ ザカリヤが聖所で香をたいていると、突然、天使が現れ、香をたく壇の右側に立ったではありませんか。¹² ザカリヤはびっくりし、言い知れぬ恐怖に襲われました。¹³ しかし、天使は言いました。『ザカリヤよ。こわがることはありません。うれしい知らせなのだから。神があなたの祈りをかなえてくださったのです。エリサベツは男の子を産みます。その子にヨハネという名前をつけなさい。¹⁴ その子はあなたがたの喜びとなり、楽しみとなります。また多くの人もあなたがたと共に喜びます。』」

ルカ福音書1章11-14節リビングバイブル

祈りの答えは忘れた頃にやってくる。そのことを体験したのは、年が進み老年となったある夫婦だった。信仰を持ち続ける事は簡単なことではない。そこには戦いがある。

信仰の父と呼ばれたユダヤ人の父祖と呼ばれたアブラハムとその妻サラも同様だった。

そこには数千年の時の隔りがあるが、その祈りに答えられたのは、同じ神であった。その神は今も生きておられ、信じ祈る者の祈りを聞いてくださる。しかも、その祈りを御自身の栄光のために用いられるお方でもある。

祈りの中で、私たちの信仰が試され、そして、成長していきます。祈り続けるためには、その祈りを継続するためのエネルギーが必要です。また、その祈りの過程の中で私たちの信仰が鍛えられます。「この祈りをきいてくださる神様とはどんなお方なのだろうか？」その神様は私たちの願いをかなえるために存在するお方なのか？それとも、私たちがその神様のために生かされているのだろうか？前者は私たちが作り上げた私たちの欲望を満たすための都合のいい神＝偶像崇拜につながる。後者は、私たちをお造りなされた創造主なる神。このお方こそ本当の神様です。神に何かを求める人は多くいますが、神御自身を求める人はとても少ない。祈りの中で、私たちの心が神へと導かれます。そして、私たちの心が神の心と一つになっていきます。そのことを実現してくださったのが、イエス様です。聖なる神は罪深い人間の祈りを聞かれることはありませんが、救い主イエス様のお陰で、罪赦され、罪を取り除いていただいた私たちは遠慮することなく聖なる偉大な神に祈ることができるようになったのです。救い主がこの世に生まれようとする半年前にこの世に生まれたバプテスマのヨハネ。その誕生のきっかけとなったのは、その両親であるザカリヤとエリサベツの祈りでした。救い主の誕生、それは、人類の祈りが神に聞かれるという世界の幕開けともなったのです。

「だから、わたしたちは、あわれみを受け、また、恵みにあずかって時機を得た助けを受けるために、はばかりことなく恵みの御座に近づこうではないか。」ヘブル4章16節